東京都立大江戸高等学校　平成３０年度　数学科　年間授業計画

１．科目名　　数学Ⅰ　　２．講座名（単位数）　数学Ⅰ（２単位）

３．教科担当者

４．使用教科書・教材　『新数学Ⅰ』（実教出版）　『ステージノート数学Ⅰ』（実教出版）

５．授業計画

学期	月	単元及び指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1学期	4	○1章　数と式 【1節　式の計算】 （整式とその加法・減法）	○分配法則を用いて、単項式と多項式の掛け算、および多項式どうしの掛け算を計算することができる。	○式の展開を公式にあてはめることができる。	4
	5	（整式の乗法） （因数分解）	○公式を用いて因数分解を解くことができる。	○どの公式を用いて因数分解すればよいかがわかる。	8
	6	【2節　実数】 （実数）			8
	7	（根号を含む式の計算） ◎ 夏期講習 「2次関数」「集合と論証」「データの分析」	○平方根の加法・減法・乗法を計算することができる。 ○分母の有理化をすることができる。	○平方根の性質を正しく理解し、用いることができる。	6
2学期	9	【3節　1次不等式】 （不等号と不等式） （不等式の性質）	○不等式の性質を用いて、1次不等式や連立不等式を解くことができる。	○1次不等式を解く方法や手順がわかる。	8
	10	（1次不等式）	○文章問題において、1次不等式を用いて解答することができる。	○1次不等式を立式できる。	6
	11	○3章　図形と計量 【1節　三角比】 （三角比）	○三角比を用いて、直角三角形の辺の長さを求めることができる。	○三角比の値が求められる。	8
	12	（三角比の性質）	○三角比の相互関係を用いて、三角比の値を求めることができる。	○三角比の相互関係を正しく用いることができる。	6
3学期	1	（三角比の拡張）	○座標平面を用いて、鈍角の三角比の値を求めることができる。	○正しく作図することができる。	6
	2	【2節　三角比と図形の計量】 （正弦定理） （余弦定理）	○正弦定理や余弦定理を用いて、辺の長さや角の大きさを求めることができる。	○正弦定理や余弦定理を正しく用いることができる。	6
	3	（三角形の面積） （空間図形の計量）	○2辺とその間の角を用いて、三角形や多角形の面積を求めることができる。	○三角形の面積の公式を、sin を用いて表すことができる。	4
				予定時数計	70